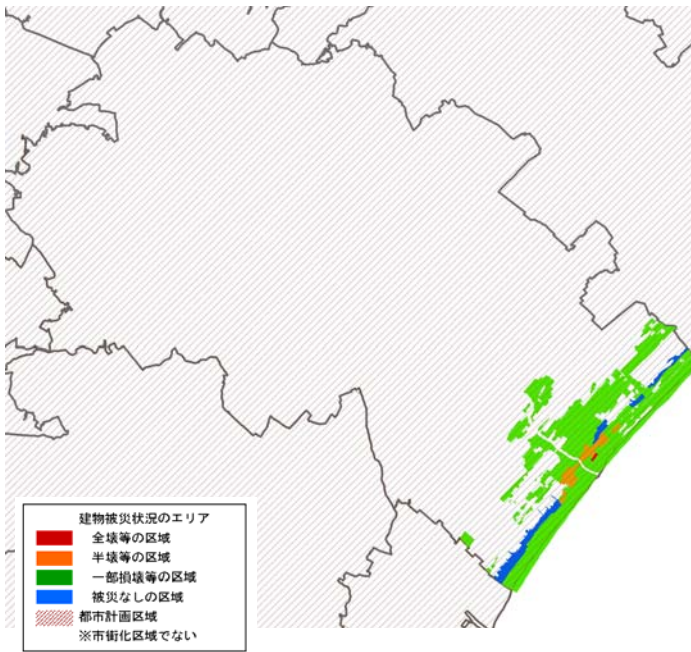


東日本大震災の被災状況に対応した市街地復興パターン概略検討業務(その30)

山武市 調査総括表(1/2)

調査番号	その(30)	県名	千葉県	市町村名	山武市			
1. 被害の状況等								
(1) 被災前の人口(H22.10.1)			(2) 浸水被害状況図					
総人口	56,089 人							
年齢階級別人口								
項目	0-14 歳	15-64 歳	65 歳以上					
人口	6,510	35,311	14,268					
比率	11.6	63.0	25.4					
(2) 人的被害の状況(H23.12.31)								
死者	1 名							
行方不明者	0 名							
(3) 都市計画等の状況								
都市計画区域	全域都計							
市街化区域	区域区分無							
用途地域	用途地域指定有							
(4) 建物等被災の状況 ※割合は行政区等々の各区域に示す割合								
区域	総面積 (ha)	全壊区域		半壊区域		一部損壊区域		流出棟数
		面積(ha)	割合(%)	面積(ha)	割合(%)	面積(ha)	割合(%)	
行政区	14,638	1.8	0.01	46.3	0.32	829.0	5.66	0
都市計画区域	14,638	1.8	0.01	46.3	0.32	829.0	5.66	0
用途地域	856	1.3	0.15	26.9	3.14	18.9	2.21	0
2. 復興計画の策定状況								
(1) 復興計画等の策定状況								
	名称	策定年月日	委員会	パブリックコメント				
復興計画	山武市復旧・復興計画	平成 24 年 2 月 29 日	無	有				
その他の方針・計画								
(2) 復興計画の策定方法等特質(住民参加・大学との連携等・方向性の変更等)								
・住民参加 地域再生協議会主催、第 5 回円卓会議 (平成 23 年 11 月 29 日) 行政改革推進委員会 (平成 23 年 12 月 9 日)								



山武市 調査総括表(2/2)

3. 復興計画の概要(市町村全体)

(1) 整備の基本的な考え方	(2) 整備にあたっての基本的な方針	(3) 復旧構想図(市町村全体対象)
<p>1. 都市構造の方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地復興を基本とし、集団移転、地盤嵩上げ等を行わない。 <p>2. 津波への対応</p> <p>L1:海岸保全施設(防潮堤)の嵩上げ (TP+6.0m) の整備により生命財産を守る。</p> <p>L2:避難を最優先する。</p> <p>(1) 現道路を拡幅して避難道路を配置し、車および徒歩によって避難する経路を確保する。</p> <p>(2) 車で避難できない人を対象にした、津波避難施設(避難ビル、避難タワー、避難公園等)を配置する。</p> <p>(3) 海岸保安林を再生および拡充を促進し、減災施設として減災道路を配置する。</p>	<p>海岸堤防整備方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・L1 対応の防潮堤を整備。(TP+4.0m →TP+6.0m) <p>河川堤防整備方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木戸川河口の堤防強化、嵩上げ整備。 <p>2線堤等の方針(含む緑地)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・減災道路を海岸沿いに整備。 <p>市街地整備の方針</p> <p>—</p> <p>交通体系の方針</p> <p>—</p> <p>避難体系の方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災行政無線等によるソフト対策を強化。 ・避難道路(拡幅または現状利用)の整備を促進。 ・津波避難施設(避難ビル、避難タワー、避難公園等)の整備を検討。 <p>産業地域の復旧方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海水浴客誘致など観光業の推進および農林水産業の推進。 	

地区別の方針の概要

- ・全体を通して、防潮堤をL1 対応高さに嵩上げ整備。(現況 TP+4.0m[ただし、防潮堤なしの区間もあり]→TP+6.0m)
- ・海岸保安林の再生と拡充を促進。(松林がマツクイムシ等で傷んでいる。)
- ・車および徒歩で避難する人を対象に、避難道路(拡幅または現状利用)を海岸部から内陸側に整備を促進。
- ・逃げ遅れた人または徒歩で避難する人のために津波避難施設(避難ビル、避難タワー、避難公園)の整備を検討。

地区名	復興の基本的な考え方
全体(成東・蓮沼地区)	<p>短期的には、避難道路の整備、避難ビルの指定等を行い、ソフト面を重視した避難対策を実施する。</p> <p>中期・長期的には、防潮堤嵩上げ、減災道路等を整備し、住民だけでなく海水浴客等の観光客も安心して来訪できるハード対策を行なう。</p>